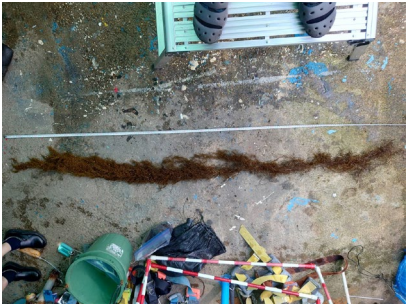
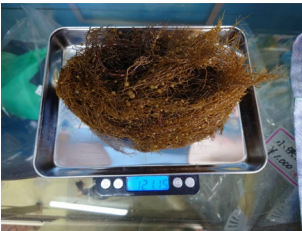
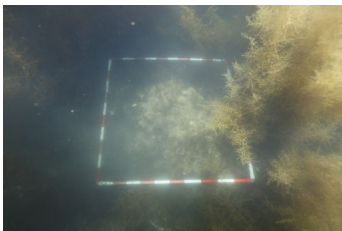


【対象面積の海藻類について】
マメタワラが優占している。
その他にヤツマタモク、ウミウチワ、キレバモク、
イソモク、オバクサ、マジリモク、ヨレモクモド
キ、ヘラヤハズ、スギノリ、ツノマタが見られた。
また、2月頃には一面をフクロノリが覆う。

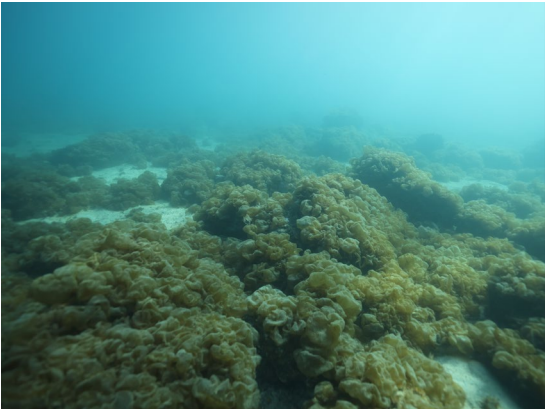
【湿重量の計測】
ツボ狩りは、対象面積の海藻類を代表する海藻が
生育する場所（被度95％）において1m方形枠を設
置し、枠内の海藻を採取して重量（kg）を計測し
た。

【含水比の算出】
採取した海藻のうち一部の海藻を十分に乾燥させ、
重量を測定して乾重量/湿重量より含水率を算出し
た。

【P/B比の算定】
横山ほか、1999の文献および採取した海藻の高さ
からP/B比を算定した



※袋重量0.14kg含む



2月頃、
全体を覆う
フクロノリ

単位面積当たりの湿重量：8.307kg/m²
8.307 × 10 = 83.07t/ha

湿重量 ⇒ 乾重量
80°Cで48時間
124.11 g ⇒ 22.97 g
121.15 g ⇒ 22.53 g

【マメタワラ】
P/B比：1.5

含水率：平均81.44%

【確実性評価について】
ツボ狩り時において、全面をヘラで綺麗に剥ぎ取ってしまうと翌年に生えづらい為、ある程度の長さを残している。そのため、湿重量及び含水比、P/B比に対して過小評価を行っており、吸収係数に係る自己評価を100とする。